

4 月度理事会議事録（2022 年 4 月 19 日（火）開催）

1. 会長報告（3 月 8 日（火）～4 月 18 日（月）出席案件）

- ・3 月 8 日（火）日本人会・理事会
- ・3 月 10 日（木）Mr. Bansarn 元駐日タイ大使 葬儀
- ・3 月 11 日（金）タイ東レ科学振興財団贈呈式（Marriott Bangkok The Surawongse）
- ・3 月 13 日（日）第 48 回日本語弁論大会（在タイ日本国大使館）
- ・3 月 21 日（月）日本人納骨堂春季彼岸法要（日本人納骨堂）
- ・4 月 8 日（金）日本人会・企画推進部会及び三役会
- ・4 月 9 日（土）泰日協会花見フェスティバル（アユタヤ日本人村）
- ・4 月 12 日（火）横浜市役所・品川様 バンコク事務所開設のご挨拶（日本人会別館）
- ・4 月 12 日（火）Mr. Montri Chairman of Thai Beverage Can 葬儀

2. 退任理事・新任理事承認

- ・桐生裕規氏（Tokio Marine Safety Insurance (Thailand)PCL.）帰国のため退任
- ・安江宣文氏（Tokio Marine Safety Insurance (Thailand)PCL.）

→異議なく承認された

3. 一般報告

（1）3 月度個人会員動向

入会者 97 名 退会 336 名 現会員数 4,575 名（内、準会員 41 名 会友会員 208 名）
（前年同月 5,482 名・前年同月比 83.4%）

（2）3 月度賛助会員

〈入会 3 社〉

- ・HOIKU 株式会社（日本企業/乳幼児教育のノウハウ提供、コンサルティング）
- ・Thai-Japanese Amata Co.,Ltd.（ホテル運営/ホテルニッコーアマタチョンブリ）
- ・Classmethod(Thailand) Co.,Ltd.（クラウド AWS サービス）

〈退会 6 社〉

- ・JVCKENWOOD Electronics(Thailand) Co., Ltd.
- ・Nature Corporation(Thailand) Co., Ltd.
- ・TC Car Solutions(Thailand) Co., Ltd.
- ・Wako Sangyo(Thailand)Co., Ltd.
- ・Star Home Co., Ltd.
- ・株式会社トモノカイ

現会員数 518 社（前年同月 557 社・前年同月比 93.0%）

（3）会員優待店

- ・現在の有効店数 68 店舗

（4）3 月度会館来訪者数

本館：128 名（実数 74 名）

別館：1,441 名（実数 467 名）

合計：1,569 名（実数 541 名）

（前年同月 2,586 名（実数 796 名）前年同月比 60.7%（67.9%））

【昨年度の開館状況】

・2021年4月26日（月）～10月24日（日）まで、会議室での同好会・サークル活動を禁止。7月12日（火）より、事務局の時短運営（9時～15時・土曜日休館）。7月20日（火）～8月31日（火）は全ての会館サービスを休止。9月2日（木）より本館・別館ともに窓口業務を一部再開、10月1日（金）より一般図書館を再開、10月25日（月）より会議室の貸出再開。

（5）会館貸出サービス

・3～5月の法人利用を紹介した。

（6）寄付・寄贈報告

・本の寄贈

イーブン美奈子様、堀井京子様、大野光子様、江草嘉和様、中村慈恵様、小倉雅美様、中土居洋様、木原真奈美様、すくすく会、その他1団体10名より、計270冊寄贈頂いた。

（7）3月度会計報告

- ・3月度収入は、417万バーツ、（前年同月 191万バーツ 前年同月比218.3%）
- ・3月度支出は、229万バーツ、（前年同月 177万バーツ 前年同月比129.0%）
- ・単月収支は、188万バーツ（前年同月 13万バーツ 差額 175万バーツ）
- ・2021年度累計収入は、2,284万バーツ（前年2,356万バーツ 前年比97.0%）累計支出は、2,408万バーツ（前年2,308万バーツ 104.3%）収支は-123万バーツ（前年48万バーツ 差額-171万バーツ）
- ・昨年度と比較して、171万バーツ収支が悪化している。
- ・マイナス要因としては、448万バーツ（収入減として285万バーツ、費用増として163万バーツ）の影響であった。
- ・収入減285万バーツの内訳として、個人会費・入会金収入の減（182万バーツ）・企業からの広告収入の減（46万バーツ）・会館閉鎖による会館利用料の減（34万バーツ）・利息収入の減（23万バーツ）となっており、コロナ禍の影響を強く受けた形となっている。特に会費収入については、有料会員の年平均会員数が、2020年度、5,659名から、2021年度、4,816名と、843名減少している。
- ・費用増の影響163万バーツの内訳としては、会員システムへの投資87万バーツ、大型備品積立金への繰入が50万バーツと、そのほとんどが将来への投資の部分となっている。
- ・プラス要因としては、277万バーツ（収入増では、90万バーツ、費用削減では187万）の影響があった。
- ・収入増の90万バーツの内訳としては、外務省補助金事業（38万バーツ）ホームページの広告収入の増（16万バーツ）などがある。
- ・費用削減の187万バーツの内訳としては、会員減による費用減（88万バーツ）、職員削減（54万バーツ）・その他効率化による費用減（45万バーツ）であった。
- ・新施策の収益拡大・経費削減を試みたが、長引くコロナ禍の影響で、個人会費・広告収入減が大きく影響した形となった。結果、次期繰越金は、3,617万バーツとなった。

（8）その他報告（事務局）

・4月の主な会議日程と各同好会・部会など主な行事日程を確認した。

4. 後援名義・ロゴ使用申請（事務局）

対象事業名：在外邦人の包括的支援「海外での子育て～コロナ禍に子どもの発達を支える～」

- ・開催日：6月19日（日）タイ時間13:00-15:30 オンラインにて開催
- ・主催：ゆいグローバルネット
- ・要請事項：ロゴ使用、広報協力

→異議なく承認された

5. 青少年部・規定の改訂に関して（事務局代理）

・青少年部規定第14条サークルの種類と申請、廃止について、従来の11サークルのうち、2021年度末を以てテニス・サッカー・野球の3サークルを廃部とし、2022年度からは8サークルとなることを報告した。

6. 2021年度チャリティー基金運営委員会・追加審議案件（重松理事）

・2021年度3月の理事会で報告した2021年度チャリティー基金支援のうち、前年度の未使用金があったチャンタミット社について再審議を行い、以下の支援を決定したことを報告した。

〈理事会報告案件〉

・チャンタミット社 (Beular Land Service Foundation)
37,000 バーツ (ハンセン病患者・家族のためのワークショップ活動費)
・上記に伴い、2021年度チャリティー基金からの支援総額は806,336 バーツとなった。

7. 2022年度定期総会に関して（事務局）

・4月21日(木) 17時より Glowfish Studio (日本人会サートン本館上階) にて定期総会を開催予定、当日のスケジュールや質問事項等について確認した。

・4月18日(月) 時点で委任状提出478名、会場参加35名予定、オンライン出席20名予定、2022年3月末会員数4,534名(普通会員4,317名、会友会員209名、名誉会員8名)で必要数は454名となっているため、総会は成立する運びである。総会へ出席及び委任状の提出に協力頂き感謝申し上げる。

→日本人会規約 第3章第11条：会員数の10分の1以上の会員の出席及び委任状により成立。

ここでの会員とは、第2章第5条の1. 普通会員、2. 会友会員、3. 名誉会員を示し、4. 準会員は含まない。

8. 各部・各委員会報告及び提案等（発表順）

(1) 会報部（富永理事）

・クルンテープ誌4月-6月号(4月10日発送)を紹介した。特集は「タイの南蛮菓子を訪ねて」・「同好会紹介31」・「発見！タイキャンプの魅力」

(2) 広報部（富永理事）

・無料情報誌については、ダコ、ニコラボ、ワム、パノーラ、の4誌に掲載する広告を紹介した。ニコラボはウェブ広告のみとなっている。

・3月のホームページアクセス状況は、訪問数10,978、閲覧数19,420で、LINE配信した日の閲覧数が高くなった。前年同月比は、訪問数123.7%、閲覧数84.0%、前月比は、訪問数123.8%、閲覧数90.2%であった。タイからの訪問数は63.1%、日本からは27.7%。前月と比較し、タイからは15.1%、日本からは54.3%増加している。日本からの閲覧は、東京、神奈川、大阪、愛知の順に訪問があった。

・LINEは10回の配信、登録者は前月より58名増加し、6,131名(有効者数3,927名)

・Facebookは64回の投稿、登録者は前月より17名増加し2,962名。チャリティー古本販売会の案内と、クルンテープ誌『きっかけはタイ』青山氏の記事のリーチ数が高かった。

・インスタグラムは24回の投稿、登録者は前月より6名増加し、1,273名。タイ赤十字社のチャリティーバザーに関する投稿と、カペラバンコクホテルのプロモーションのリーチ数が高かった。

・Twitterは12回投稿し、フォロワーは前月より6名増加の969名となっている。Facebook同様に

チャリティー古本販売会の案内が多くインプレッションを獲得した。

(4) 企画推進部 (富永理事)

- ・3月9日(水)、幼稚園合同説明会をオンラインで開催した。メロディー幼稚園とこぼと幼稚園の紹介をし、当日は16名が参加した。参加者からは「複数の幼稚園の話を一度に聞けて良かった」などの感想があった。
- ・3月18日(金)、インター校合同説明会をオンラインで開催した。International School BangkokとTraill International Schoolを紹介し、当日は26名が参加した。
- ・3月15～23日、全6回のオンライン英検基礎講座を開講した。講座委託はGEOS Language Centre Thailand。合計で41名の参加者があり、受講料収入は10,250バーツ、講座料支払いは15,000バーツ、日本人会から4,750バーツの持ち出しとなった。
- ・3月24日(木)、HOIKU株式会社との共催ウェビナー「これからの時代に求められる子どもの力」を開催した。講師は、同社顧問の藤森平司氏。急速に変化する時代の中で、子どもが将来成功をおさめるのに必要となる能力についてについて、最新の脳科学・乳幼児研究に基づいて解説いただいた。当日は45名の参加があり、9割の方が満足したイベントとなった。
- ・2022年度に開催予定のWelcome Thailandセミナーシリーズを紹介した。
- ・5月9日(月)、HRI(Thailand)Co.,Ltd.との共催で、「タイ人との働き方～関係構築に失敗しないための3つのポイント」をオンラインで開催する。講師は同社の江草嘉和氏。
- ・5月19日(木)、日本人会別館にて「はじめての英検」を開講する。講師はコミュニティ英会話の枝雄二氏。
- ・You Tubeチャンネル登録者数が585名となったことを報告した。

(5) 事業部 (神原理事)

- ・3月21日(月)に日本人納骨堂春季法要を開催した。新保剛在タイ日本国大使館領事部長、島田会長をはじめ、御霊に縁のある方や彼岸参りに来られた方など23名の方にご参列いただいた。
- ・法要に際し、ご供花を、在タイ日本国大使館・盤谷日本人商工会議所・島田名津様、ご供物・ご香料を マイベーカーリー・日高龍雄様・小野雅司様・神原彰三様・政岡絢子様・小谷久子様・濱田文子様・松浦孝次様・黒川かほる様・松田福子様・妙子ブンチャイ森様・川満富子様・岡村智恵子様(順不同)からご提供頂き感謝申し上げます。
- ・内堀堂守より、納骨堂本尊釈迦如来像の破損が気になるという報告があり、大使館広報文化部の打田様から東京文化財研究所の早川様・鳥海様を、東京文化財研究所から東京藝術大学大学院・文化財保存学保存修復彫刻科の岡田靖先生をご紹介いただいた。3月17日(木)にZOOMにて、破損状況を確認いただき、調査費用の見積もりを依頼した。3月の理事会でも報告した通り、専門家による状況把握・見積もりに30～50万円かかる予定であり、神原納骨堂カンチャナブリ基金運営委員長の下、石井理事・日高泰雄理事と委員会を開催し協議した結果、納骨堂カンチャナブリ基金から出金することとした。その後の修復費用については、専門家の意見も踏まえ、基金運営委員会で検討していきたい。
- ・内堀堂守の3月の活動を報告。
ワットリアップの活動に7回参加、納骨堂堂守としての供養・法要を2回実施頂いた。3月8日(火)日高家にて、22日(火)日本人会本館にて写仏会を開催した。

(6) 食堂運営委員会 (石井理事)

- ・食堂売上3月は、736,325B(前年対比80.1%)であった。タイ人顧客は2,212名、邦人顧客は464名、総顧客数2,676名、会員利用者延べ人数は114名、実数48名であった。

(7) バンコク日本人学校 (谷口校長)

- ・4月22日(金)に始業式、23日(土)に入学式を行う。小学部は304名の新入生、中学部は167名の新入生が入学し、全校生徒数は小学部1,619名、中学部397名、合計2,016名となる。昨年度からは約300名の生徒減となっている。
- ・コロナ感染者数は全校生徒数の約1割となっている。
- ・2022年度は文部科学省から30名の教師が赴任、学校採用が20名で、合計50名の教師が着任した。

(8) 盤谷日本人商工会議所 (坂本事務局長)

- ・4月29日(金)17時より、パークレーホテルプラトゥーナにて定期総会を開催する。

(9) 教育部 (事務局)

- ・2022年度第1回英検は、一次試験を6月4日(4・5級)と5日(2・準2・3級)に、二次試験を7月3日に開催する。ソーシャルディスタンスを確保するため、本館ビル2階のGlowfishスタジオをレンタルし、当日のスタッフはATK検査をするなど防疫措置に努めて実施する。

(10) 運動部 (事務局)

- ・3月22日(火)にRatniwit Bangkaeo Schoolを訪問し、グラウンド貸出のお礼としてATKセット408個を贈呈した。2022年度ソフトボール大会については、7~9月の毎週土日に、クイーンシリキット球場のサブグラウンドにて開催予定である。

(11) 青少年部 (事務局)

- ・3月6日(日)別館にて、演劇サークル公演『てんきんかんとキツネのおはなし』を開催した。
- ・3月19日(土)、別館にて、裏千家バンコク協会の協力の下、茶道体験イベント「親子で学ぼう!日本の伝統文化『茶道』」第2弾を開催した。
- ・4月30日(土)別館にて、演劇サークルの体験ワークショップを開催する。

(12) 事務局情報共有

- ・2021年度チャリティー基金からの寄付について3月25日(金)にプレスリリースを行い、タイランドハイパーリンクス、newsclip.be、時事速報で紹介されたことを報告した。

- ・理事選挙の年に必要となる、行政所轄アンブー (Bangrak) への理事情報登録について、必要書類の説明をおこなった。

9. 3月度理事会議事録承認

→異議なく承認された

10. 理事会出席者 (敬称略、順不同)

- ・島田会長、荻原、日時本、福田、加藤各副会長、太田、堀尾、小田原、米増、神原、吉田、安江、竹井、富永、重松、金子、日高(丸紅)、石井各理事、朽木、大竹各監事、森田 JICA (国際協力機構) 所長、石川 JETRO (日本貿易振興機構) 代表、坂本 JCC 代表、事務局 (村上・松田)